

令和7年度第1回豊明市地域福祉計画推進委員会 豊明市いのち支える自殺対策推進本部 議事要旨

日 時：令和7年7月25日（金）午後2時30分から午後4時

場 所：豊明市役所 本庁舎本館3階 会議室1

出席者：8人 欠席者：4人 傍聴者：なし

1 あいさつ

委員長よりあいさつ

2 議事

(1) 豊明市第2次地域福祉計画・第4次地域福祉活動計画等の評価について

・基本施策の実績について

事務局より説明

○質疑応答・意見

(委員)

重層的支援センターについて、センターとサービス利用者の動きを、事業所である自分たちが把握できないことがあり、事業所としてどのような立場で関わっていけば良いか不明確である。初めてのことで、正解が分からない。

(事務局)

重層的支援センターは相談支援機関の後方支援という役割を担っていることから、センターと事業所は、ともに動き、事業所の困りごとをどう解決をしていくかを一緒になって考えていく必要がある。

課題を複合的に抱える利用者の、例えば働きたい気持ちをどう支援するのか、また、収入が大きく得られない課題をどう解決していくのか等、課題解決に向けて参加支援や地域づくり支援を一体的に行っていくというのが重層的支援センター。

事業所が置いて行かれてしまう実態があるのであれば、センターをしっかり作り上げていかなければいけない。できたばかりの機能ではあるが、支援を受ける人の思いや支援に携わる人が置き去りになることがないように、問題提議をしながら施策を進めていきたい。

例えば障がい者就労に関して考えてみると、就労することが目的ではなく、就労の定着が目的であると考えている。就労開始から定着するまでの過程を大事にしていくべきという視点を持ち、センターと関わっていく。

(委員)

チョイソコとよあけの利用方法「5分前集合」が利用者に周知されていないように感じる。何か対策があっても良いのではないか。

(事務局)

貴重なご意見として承らせていただく。制度そのものの周知含め、いただいたご意見を担

当課と共有する。

(委員)

情報発信のバリアフリー化について、外国語の情報発信が課題。共生社会課が作成している「生活便利帳」を、各地区集会所や保育園等に設置すると利便性が高まるのではないかと。

(事務局)

外国籍市民は増加しており、言語・文化の相互理解が必要であることは認識している。言語や文化の違いによることなく、誰もが情報を入手できる環境を整備していくことが課題であることを含め、担当課と共有する。

(委員)

子どもと地域との交流の促進について、子ども食堂の運営は、食材の確保等事業継続のためにどのような手立てをとっているか。昨今物価高騰が続く中、事業継続を危惧している。

(事務局)

豊明市子ども食堂ネットワークには6団体登録があり、必要であれば助成金を交付している。民間企業による助成金の情報があれば、団体へ情報共有をしている。また、市内農家等から食材を寄付していただいているほか、豊明市子ども食堂ネットワークを通して機材の貸し出しを行っている。物価高騰支援として、県から団体への直接補助もある。

(委員)

災害ボランティアコーディネーター養成講座は、年齢制限があるか。

(事務局)

中学校卒業者から参加可能。今年度は、10月18日(土)に実施予定。講座についてのチラシは現在作成中。9月号社協だよりにも掲載予定。是非参加いただけると大変ありがたい。

(委員)

豊明市文科系ジュニアクラブとスポーツクラブについて、活動内容や募集場所が知りたい。また、クラブの主導はどこか。

(事務局)

豊明市文科系ジュニアクラブは、ダンスや着付け教室、天文クラブ等6つのクラブがあり、スポーツクラブはスポーツ鬼ごっこやテニス等7つのクラブがある。

文科系ジュニアクラブ、スポーツクラブともに市主導で申し込みは生涯学習課が取りまとめている。

・重点施策の実績について

事務局より説明

○質疑応答・意見

なし

(2) 豊明市いのち支える計画の実績について

事務局より説明

○質疑応答・意見

なし

(3) 豊明市第3次地域福祉計画・第5次地域福祉活動計画について

事務局より説明

○質疑応答・意見

なし

3 その他

事務連絡